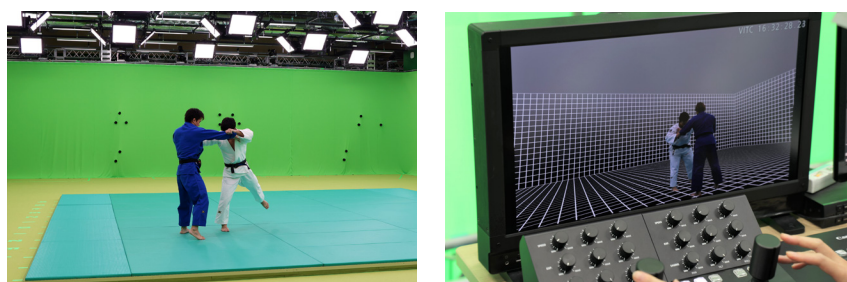


スポーツ庁「スポーツ×テクノロジー活用推進事業」への参画でスポーツ産業のDXを支援
ポリュメトリックビデオ技術により柔道の新たな楽しみ方や視聴体験を提供

キヤノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：足立正親、以下キヤノンMJ）は、スポーツ庁が推進する「スポーツ×テクノロジー活用推進事業」に参画し、スポーツの場におけるDX推進などを支援します。公益財団法人全日本柔道連盟（会長：山下泰裕）とともに、柔道の魅力をより多くの人に伝えることを目的に、キヤノン株式会社（代表取締役会長兼社長 CEO：御手洗富士夫、以下キヤノン）が開発するポリュメトリックビデオ技術を活用した新しい楽しみ方や視聴体験を通し、テクノロジーの力でスポーツ産業の成長促進に貢献していきます。



ポリュメトリック映像の制作風景（写真左：撮影シーン 写真右：映像確認の様子）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、スポーツ業界では多くの競技において、大会の中止・延期、競技人口の減少、テレビ放映の減少など、さまざまな問題が顕在化しています。このような状況に対し、スポーツ庁において、令和4年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツ×テクノロジー活用推進事業」が公募され、キヤノンMJは本事業に参画します。

キヤノンMJは本事業において、「スポーツの場におけるDX推進等支援事業」について提案を行い、「①試合や大会等の場面での新しい観戦体験の楽しみ方を提供する取り組み」「②NFT[※]などによるファンエンゲージメントを高める取り組み」「③DXを取り入れた団体などの収益構造改革に資する取り組み」の3点が採択されました。本事業に向けた施策を全日本柔道連盟とともに2023年3月末まで取り組みます。

具体的には、キヤノンのポリュメトリックビデオ技術をはじめとする先進のテクノロジーを活用し、柔道の新たな楽しみ方を提供します。柔道は日本を代表する競技の一つとして高い人気を誇りながらも、競技人口の減少やテレビ放映の減少といった課題に直面しています。改めて魅力をより多くの人に発信するため、グランドスラム東京 2022大会（2022年12月3日〈土〉・4日〈日〉開催）に向けたプロモーション映像の制作やNFTデジタルトレーディングカードの配布、360度あらゆる視点で視聴可能な自由視点コンテンツの体験ブースを実施します。

キヤノンMJは、本実証事業から得られたノウハウ・結果をもとに、スポーツ庁に対し柔道競技以外への展開も見据えた提案を行います。スポーツ界に再び活気を取り戻し、テクノロジーの力でスポーツ産業の成長促進に貢献することをゴールに見据えています。

※ Non-Fungible Token（非代替性トークン）の略。ブロックチェーン技術により、デジタル資産の偽造・改ざんを防ぎ、所有者を明確にすることが可能。

- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社 自治体ソリューション企画課 03-6719-9655
lop@canon-mj.co.jp
- 報道関係者のお問い合わせ先 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社 広報部 03-6719-9093

〈令和4年度 スポーツ産業の成長促進事業「スポーツ×テクノロジー活用推進事業」〉

近年、DXの導入や最新のテクノロジーを活用した動画配信、遠隔地観戦などの取り組みが拡大するとともに、ブロックチェーン技術を活用したNFTやクラブトークンなどの新しいサービスが創出されています。テクノロジーの活用は、スポーツをより身近に感じることができる機会を提供したり、スポーツの付加価値を高めたりするだけでなく、新たな収益源となるものです。コロナ禍においては、このような動きは急速に拡大してきており、早急な対応が必要となっています。

本事業では、このような状況を踏まえ、スポーツの場におけるDXやテクノロジーの活用について、国内外における現状や優れた取り組みなどを広く調査するとともに、活用事例創出のための実証事業、デジタル技術の活用により高価値化しているスポーツデータの取り扱いの整理などを行います。このような取り組みを通じ、スポーツ界に再び活気を取り戻し、テクノロジーの力でスポーツ産業を成長促進していくことを目的に事業を行っています。



〈主な施策内容〉

「柔道のすべてを、すべての視点から、すべての人に。」をコンセプトに、以下の取り組みを実施します。

1. ボリュームトリックビデオを用いたプロモーション動画の企画プロデュース・公開

- ボリュームトリック映像だからこそ表現できるダイナミックなカメラワークとハイクオリティなCGを掛け合わせて、既視感のないインパクトのある動画を制作します。SNS施策などとの連携で、既存の柔道ファンのみならず、これまで柔道に馴染みがなかった層との接点を生み出し、波及・拡散を行います。また、著名な柔道現役選手にご出演いただき、既存のファンにも新たな柔道の見せ方を伝えていきます。
- 出演柔道家：大野将平選手／ウルフ・アロン選手 ※順不同
- 公開メディア：YouTube（全柔連TV・YouTubeチャンネル内）
- スケジュール：2022年11月下旬公開予定

2. NFTを活用したボリュームトリックビデオ版デジタルトレーディングカード「JUDOコレカ(仮)」の実証実験

- Xクリエイション株式会社のノウハウを活用し、NFT技術により唯一性が確保されたNFTデジタルトレーディングカードを制作します。通常版に加え、スペシャルカードとして著名柔道家のボリュームトリックビデオ版のカードも作成し、グランドスラム東京2022の大会会場への来場特典として配布を予定しています。
- 出演柔道家：井上康生氏／大野将平選手／ウルフ・アロン選手／素根輝選手 ※順不同
- スケジュール：2022年12月上旬配布予定

3. 柔道の技を360度自由視点で見ることのできるコンテンツ「柔道オールビュー(仮)」の企画プロデュース

- ボリュームトリック3Dデータにより、選手が繰り出す得意技の決定的なシーンをさまざまな角度から視聴体験ができるコンテンツを制作します。グランドスラム東京2022大会にご来場される柔道ファンに対し、大型ディスプレイとハンドトラッキングセンサーを活用し、子どもから大人まで直感的に楽しめる「柔道オールビュー」イベントブースを大会会場に出展します。さらに、ゲーム感覚で、映像を360度自由自在に動かしながら、好きな視点で楽しむことができるウェブコンテンツの制作も予定しています。
- 出演柔道家：大野将平選手／ウルフ・アロン選手／素根輝選手 ※順不同
- イベントブース開催日：2022年12月3日(土)・4日(日)開催 グランドスラム東京2022大会会場にて
- ウェブコンテンツ公開日(予定)：2023年3月

〈ポリメトリックビデオスタジオ-川崎について〉

ポリメトリックビデオは、時間と空間を丸ごとキャプチャする技術です。現実世界の被写体をデータとして取り込み、3Dモデル化することで、空間内の自由な位置や角度からの映像生成が可能になります。

キヤノンの「ポリメトリックビデオスタジオ-川崎」は、被写体を囲むように設置した100台超のキヤノン製4K・60fpsのカメラを使用しています。キャプチャ範囲が広く、柔道のダイナミックな投げ技も撮影可能です。3Dモデルとしてデータが蓄積されているため、制作者は空間内を思いのままに操作し、実在のカメラでは表現できない2Dのポリメトリック映像のほか、AR / VRをはじめとする3Dコンテンツなど、用途に応じた多彩な形式でのサービス提供が可能です。

ホームページ： <https://global.canon/ja/vvs/>

〈主な協力企業・団体〉

公益財団法人 全日本柔道連盟： <https://www.judo.or.jp/>

太陽企画株式会社： <http://www.taiyokikaku.com/>

Xクリエイション株式会社： <https://xcreation.co.jp/>